

2024年4月7日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうぎょうかい}久宝教会
第67巻第2号(通算3384号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{かみさま}神様がすべての人^{ひと}と共^{とも}におられる
ことを証^{あか}ししていく教会 

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書11:25)

ふっかつせつ
復活節

だい しゅじつれいはい
第2主日礼拝



《^{れいはい}礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所^{ちゅうけいはいしん}で共に礼拝をして頂^{ぼくし}けます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙祷)

ちよさくけんしょうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しへん
詩編

へん せつ
118編 22-23節

さんびか
賛美歌

ばん しゅ ふっかつ
21-333番「主の復活、ハレルヤ」(©教団出版局)

せいしょ
聖書

ふくいんしょ
ヨハネによる福音書

しょう せつ
20章 19-31節

いの
お祈り

さんびか
賛美歌

ばん しゅ
21-197番「ああ主のひとみ」(©教団出版局)

メッセージ

「見たから信じる、見ないで信じる」 牛田 匡 牧師

さんびか
賛美歌

ばん おそ す さ
21-332番「恐れを捨て去り」(©JASRAC)

しゅいの
主の祈り

ばん てん わたし ちち
21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物(*)

はけん
派遣

ばん かみ めぐ う せつ
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく
祝福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こうそう
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

ページ さんしょう
(4頁をご参照ください)

《^{せき}席にお座り^{すわ}になったままで礼拝にご参加^{れいはい}ください》

*受付に^{うけつけ}献金箱^{けんきんばこ}がございます。

「^{ささげもの}献げ物(献金)^{けんきん}」はご用意のある方のみ、お献^{よらい}げ^{かた}ください。

招きの詞 詩編 118 編 22-24 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

22 家を建てる者の捨てた石が隅の親石となった。

23 これは主の業／私たちの目には驚くべきこと。

24 今日こそ、主が造られた日。／これを喜び躍ろう。

聖書 ヨハネによる福音書 20 章 19-31 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちは、ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸にはみな鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20 そう言って、手と脇腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなたがたを遣わす。」22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 誰の罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。誰の罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

24 十二人の一人で「ディディモ」と呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。25 そこで、ほかの弟子たちが、「私たちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をその脇腹に入れなければ、私は決して信じない。」26 八日の後、弟子たちはまた ^a家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。あなたの手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」28 トマスは答えて、「私の主、私の神よ」と言った。29 イエスはトマスに言われた。「私を見たから信じたのか。見ないで信じる人は、幸いである。」

30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じて、イエスの名によって命を得るためである。



(脚注 a：直訳「中にいて」)

《先週のメッセージより》3月31日 イースター礼拝

「走って行った」より

水谷憲牧師

聖書 マタイによる福音書 28章1-10節

ナザレのイエスが十字架につけられて死に、埋葬されたのは金曜日。その次の土曜日はユダヤ教では安息日で、その安息日が終わった日曜日の明け方、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に行った。この2人のマリアは、十字架とイエスの埋葬にも立ち会っていた。自分の大事な人、尊敬する人が十字架にはりつけになって無残に殺されるのを目の当たりにし、彼女らの悲しみや絶望はどれほどだったか。それは私たち自身も、愛する人を失うという経験によって感じる同じ気持ちかもしれない。墓を見に行った時も、2人の気持ちは相変わらず沈んでいたことだろう。

しかしその時、天使が現れてイエスが復活したこと、弟子たちより先にガリラヤへ行かれることを2人に告げる。それを聞いた婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。彼女たちは天使に促されて見た。イエスの墓が空っぽなのを。彼女たちは天使からの伝言により、かつてのイエスの言葉を思い出したのだ。「しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く」という言葉を。ガリラヤとは、イエスが初めて宣教の歩みを始めた地。再びそのガリラヤに集まるといふ呼びかけは、もう一度一緒にやりなおそう、というイエスの許しを伴った招きであった。私たちも日々様々なことで悩み失敗したりして自己嫌悪に陥ることも多々あるかもしれないが、それでもいいのだ。私たちなんて、イエスの弟子たち以上に弱くつまずきやすい者であるが、そんなことは重々承知の上でイエスは、ガリラヤに先に行って弟子たちやマリアたち、そして私たちのことを待っていてくださるのだ。

マリアたちはきっと、イエスが生きてガリラヤで自分たちを待っておられるということに大きな希望と喜びを感じ、体に力がわき出てきたからこそ、自然と走り出したのかもしれない。そして案の定、彼女たちは復活のイエスと感激の再会をし、イエスから直接伝言をことづかって送りだされる。「恐れることはない。行ってきなさい」と。私たちも、このマリアたちのように、イエスの復活という希望と喜びの知らせを携えて風のように走り出す者になりたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 3月31日 イースター（復活日）礼拝

礼拝出席 大人8名 献金 大人5,000円 中継視聴者数3回 感謝
 久しぶりに礼拝に参加された方もあり、礼拝も、礼拝後の愛餐会（昼食会）も、イースターの嬉しいお祝いの時を過ごすことができました。どうもありがとうございました。

◎次週 2024年4月14日（日）復活節第3主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 61章 1節
 聖書 ペトロの手紙I 1章 22-25節
 メッセージ 「永遠に朽ちない言葉」水谷憲牧師
 賛美歌 21-329 (©P.D.)、21-360 (© P.D.)、21-53 (© P.D.)



同日、柏原市にある社会福祉法人日本コイノニア福祉会の特別養護老人ホーム・第二好意の庭にて「感謝祝福式」が執り行われます。（司式は牛田匡牧師）

◎公告

・再来週4月21日（日）の礼拝後に、2024年度定期教会総会を開催いたします。議案は、以下のように予定しています。教会員の皆様はどうぞご予定ください。

【第1号議案：総会議長及び総会書記選出に関する件】【第2号議案：組織】

【第3号議案：2023年度教勢報告の承認に関する件】【第4号議案：2023年度教会活動報告の承認に関する件】【第5号議案：2023年度教会会計決算の承認に関する件】【第6号議案：2024年度の主任・担任・協力教師への謝儀等に関する件】

【第7号議案：2024年度教会活動の計画の承認に関する件】【第8号議案：2024年度教会会計予算の決定に関する件】【第9号議案：2024年度CS会計予算の決定に関する件】【第10号議案：(2024年)第69回大阪教区総会出席議員の選出に関する件】【第11号議案：その他に関する件】

◎お知らせ

・本日の礼拝後に、4月期の「教会を考える会」を行います。

・4月13日（土）に関西セミナーハウスにて、講演会「預言書に学ぶ非戦のころ——第2イザヤを中心に」（講師：石川立さん）が開催されます。オンラインでのリモート参加も可能です。詳細は日本クリスチャンアカデミー 関西セミナーハウス活動センターのウェブサイトをご確認ください。（4月10日〆切）

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
4/14	水谷憲牧師	（第二好意の庭・感謝祝福式）
4/21	牛田匡牧師	定期教会総会
4/28	水谷憲牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
5/5	水谷憲牧師	ユーカリスト・教会を考える会
5/12	牛田匡牧師	家族の日礼拝

日本クリスチャンアカデミー
関西セミナーハウス活動センター

2024年度 修学院フォーラム「社会」第1回

シリーズ「戦争と平和」

**預言書に学ぶ非戦のころ
——第2イザヤを中心に**

会場とZoom

講師：石川立（同志社大学名誉教授）

2023年10月7日にパレスチナ自治区ガザを支配する武装組織ハマスがイスラエルを襲撃しました。それ以降、イスラエルはガザ地区の武装勢力を容赦なく攻撃し続けています。軍事力において圧倒的にまさるイスラエルは、ガザ地区に住む多くの民間人を巻き込んで、残忍な戦闘を繰り返しています。このような戦争に大義はあるのでしょうか。イスラエルはヘブライ語聖書（旧約聖書）に記された神の選びに基づいて自分たちの国と土地を守るのだと主張しているように思えます。しかし、このような聖書の解釈は適切なのでしょうか。

ヘブライ語聖書は民族主義的な特徴も確かにもっており、そこには強い怨念が込められていますが、一方で、預言書には民族主義を批判し、これをほどこさず、その先を指し示す神の言葉が響かれています。この神の言葉は平安と祝福を語り、とりわけ貧しく無力な人々に希望を与えるものです。今回のフォーラムでは、おもに第2イザヤ（イザヤ書40-55章）の非戦の心の声に耳を傾けたい。さらに、現代の預言者とも言えるフランスの哲学者レヴィナスの倫理思想にも学びたいと思います。

日時 2024年4月13日（土）13:30～16:00
 参加方法 関西セミナーハウス来場 または、リモート参加
 参加費 来館/リモート共通 2,000円 学生 500円 [リモートは郵送先票面]

◎講師は、会場で講演し、話し合いに参加します。参加者は、次のいずれかの方法で参加できます。
 ◎来館参加 関西セミナーハウスの会館に集まり、講演を聞き、話し合いに参加します。
 ◎リモート参加 パソコンのウェブカメラなどを利用して、任意の場所でネットを通して参加することができます。申し込みの際にメールアドレスをお知らせください。メールアドレスはZoomの招待状をお送りします。

石川立 いしかわ りつ

1953年、愛知県に生まれる。東京大学、チュービンゲン大学、京都大学、同志社大学、ミュンヘン大学に学ぶ。専攻は、聖書学、聖書解釈学、解經学的神学。日本基督教団教会で担任教師（伝道師、副牧師）をつとめる（1986～1990年）。同志社大学神学館（1996～2023年）で旧約聖書、新約聖書、聖書解釈学などを担当する。現在、同志社大学名誉教授、日本基督教団京都第九大町教会担任教師。

共著：『新共同訳旧約聖書略解』（日本基督教団出版局）、『苦難と救済：神の後に光あり』（教文館）、『神をよむために：聖書協会共同訳』（日本聖書協会）、『ここが愛だった』（聖書協会共同訳）（日本クリスチア出版局）など。
 訳書：ヴァイダー著『ATD旧約聖書註解21 エレミヤ書 28-52章』（ATD-NTD聖書註解刊行会）など。

要申込み 4月10日(金)までにFax(前掲)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込みください。